



東村山市子ども読書活動推進計画

(平成17年度～21年度)

進捗状況報告①『きょういく東村山』より

図書館を活用する力を伸ばすために



めぐりた めぐりた 廻田図書館と回田小学校

市立図書館では、近くの小学校と連携して、子どもたちが公立図書館や学校図書館を活用し、本の探し方、調べ方を身に付けるための様々な取り組みを実施しています。

その一例を紹介します。

今年度、回田小学校では、校内の研究テーマが国語科の「読む力をつける」であることから、校内研究部を中心に全校をあげて、読書活動に取り組んでいます。

そこで、日ごろから本の特別貸出などで交流のある廻田図書館と回田小学校が協力して、新しい取り組みをいくつか行うことになりました。

マナーと分類のガイダンス

そのひとつは、1年生を対象とした学校図書館利用のガイダンスです。

図書室に入って来た1年生たちは、「これから何が始まるのかな」というまなざしで図書館員を見つめています。

はじめに、図書館のしくみやマナーを描いた紙芝居『こんにちは としょかん』を読みます。この作品は、市内在住で紙芝居作家として活動しているやべみつのり氏が、回田小などをモデルに絵を描いたことを併せて紹介します。

図書館の本には決まった置き場所があることや、分類ラベルの説明に続き、図書館の中でしてはいけないことを問いかけます。「こんなことをしているのかな?」「だめーっ」本を汚したり、傷つけたりする人の絵を見て、1年生は真剣な顔で答えます。本は大切に使うものということが伝わったようです。

次は、実際に図書館を使っただけの説明です。分類ラベルを拡大したパネルを見せながら本の置き場所を示し、分類番号や記号に沿って本が並んでいることを実感してもらいます。

物語や「アサガオ」「虫」といった身近な本を取り上げて説明すると、見出しを指して場所を教えてくださいと、精一杯わかってほしい様子が見られます。

目的の本を探すことや、読んだ本を元に戻すことができるようになることは、図書館を使いこなすための第一歩です。

親子で市立図書館へ

また、学校から家庭に発信された「夏休みには家庭で読書」というメッセージに呼応して、家族で図書館を利用することにより、便利な図書館の使い方を覚えたり、親子での読み聞かせを通して読書体験をより深めてもらうこと等を紹介してきました。

後期には、調べ学習が増える高学年へ向けて、調べ方ガイダンスを行います。

これからも、市内にある5つの図書館が地域の要となり、学校や市民の皆さんと手をつなぎながら、子どもの読書環境の充実に努めていきます。

『きょういく東村山』第57号より

平成20年9月20日号

編集・発行 東村山市教育委員会